

各地の話 利府町

地域おこし協力隊がナシを通年栽培

2025年5月30日号掲載



利府町は県内有数のナシ産地で、街道沿いの路上販売が盛んだ。町では地域おこし協力隊が、ナシの栽培技術習得や協力隊員イベントへの参加などに取り組むほか、廃業を検討しているナシ農家からほ場を預かり、通年で栽培を行っている。

今年度は、昨年度からの隊員である石井航さんと加藤雄一郎さんに加え、仙台市から移住して協力隊となった佐藤穰司さんの3名で活動を開始している。4月に行った果樹棚への枝の誘因作業では、先輩隊員2人が佐藤さんに指導をしながら、和気藹々と作業を進めていた。

3人は「将来はおいしい利府梨を多くの方々に届けたい」と梨農家としての抱負を語った。

町農林水産課では「近い将来、3人揃って梨農家として飛躍するよう、今後の活躍に期待するとともに町として精一杯支援していきたい」と話す。

【記事提供】大河原町農業委員会

左から加藤さん、石井さん、佐藤さん



果樹棚に枝の誘因を行う3人

